

ながはま 見聞録

Nagahama Hotnews

このコーナーは、長浜の見どころ、市民の皆さんの活動の様子やまちで見かけたほっとな話題を紹介し、あなたが知っている旬の話題などがあれば、市民広報課（☎65-6504）までお知らせください。市公式Facebookページでもさらに詳しくみることができます。

<https://www.facebook.com/nagahama.hotnews> 「長浜 ほっとにゅーす」 検索

7月16日(土) 映画館で観る楽しさを

映画館で観る映画の楽しさを知ってもらえる機会をつくりたい。地域おこし協力隊の植田淳平さんの思いから、長浜に一日限定の映画館「シネマ余呉」が開館されました。

琵琶湖が舞台の映画「マザーレイク」の上映が実現し、会場となった余呉文化ホールには、午前と午後の2回の上映で約400人が集まりました。上映後、観客の皆さんは監督の瀬木直貴さんの興味深いトークに引き込まれました。



7月18日(月) びわ湖を感じ、感謝しました

母なるびわ湖に感謝することを目的に、今年31回目となる「水とロマンの祭典」が尾上漁港一帯で開催されました。

ニゴロブナなどの生息数を増やそうと、稚魚およそ2千尾を地元の子もたちが放流。また、奥びわ湖の美しい自然が満喫できる湖上タクシー、親子で楽しめる魚釣り、ちびっこ魚つかみコーナーなど、びわ湖を身近に感じるイベントが数多く催され、びわ湖に感謝する1日となりました。

7月23日(土) かつての賑わいが復活しました

浴衣を着て夏の一日を楽しむイベント「長浜なつまつり」が中心市街地で開催されました。

今回の目玉は23年ぶりに復活した「長浜総おどり」。おどりには21団体を含む約500人が参加し、「長浜おどり」や「江州音頭」を心ゆくまで堪能。早くも来年の開催を待ち望む声も聞かれました。また今年は、ナイトマルシェやビアフェスタなどのイベントも併せて開かれ、大変賑やかな夏の1日となりました。



7月30日(土) 市民活動の幅が広がります

狭小で老朽化が進んでいた神照公民館の新築工事竣工式が開催され、晴天の中、記念行事で盛り上がりしました。

新しい公民館は、鉄骨平屋建てで、延床面積は現在の約3倍となり、芸能室、和室、工作室、調理室などを備えます。また駐車スペースを90台確保し、今までの慢性的な駐車場不足が解消されそうです。「夢・優しさ・利便性」を兼ね備えた市民活動の場に期待の声が膨らんでいます。



7月31日(日) 伝統の保存・伝承に留学生が活躍

富田町に180年前から伝わる人形浄瑠璃「富田人形」の夏公演が、リュートプラザで開催されました。

富田人形を保存・伝承する富田人形共遊団では、毎年留学生を受け入れ、日本の伝統や芸能文化を伝えています。留学生は2か月間という短期間の猛特訓で人形遣い、三味線、太夫を習得。チームワークが最も重要ですが、本番での息もぴったり。最後まで見事に演じきりました。



8月4日(木) 1万発の大輪が夜空を彩る

長浜夏の風物詩「長浜・北びわ湖大花火大会」が長浜港一帯で開催され、スターマインを中心に約1万発が夜空に打ち上げられました。

カウントダウン花火や芸術花火、ミュージックスターマインなど、多彩な花火が次々と打ち上げられ、約11万人の観客がその迫力と美しさに酔いしれました。フィナーレには超特大のスターマイン。会場のボルテージは最高潮に達しました。

8月8日(月)～9日(火) 記者を体験しました

市内の小学生が、地域のことを紹介する新聞を作成する「まち記者体験」が高月町雨森で行われました。取材の仕方、写真の撮り方、地域のことなどを学んだあとまちへ出かけ、紹介したい場所の写真を撮り、熱心に取材しました。

参加した小学生たちは、取材した内容を記事にまとめ、大人顔負けの見出しをつくるなど、2日間の体験でみごとな新聞を完成させました。



8月9日(火) びわ湖調査に出動しました

市内の小学校児童と指導教諭からなる長浜市水生生物少年少女調査隊「みずすまし」の、結成30周年を記念した環境学習体験会が行われました。市内13校から85人の児童らが参加し、環境学習船megumi号での環境学習や、リニューアルした琵琶湖博物館見学を楽しみました。児童からは、「琵琶湖にたくさんのプランクトンがいることや水深が深くなるほど冷たくなるなどの秘密が知れておもしろかった」との声が聞かれました。

※この事業は全国モーターボート競走施行者協会からの拠出金を受けて実施するものです。